

平成21(2009)年4月20日

第 40 号

世田谷稲門会
 健邦明 秀信
 上島村内子
 寺岩大兼
 岩寺大兼
 行人集
 発行人
 編集

〒156-0043
 東京都世田谷区松原5-19-4
 横田吉明方
 TEL/FAX03-3324-7046



海老沢勝二氏 (元NHK会長) が講演 第十八回定時総会五月二十三日(土) 開催

世田谷稲門会の第十八回定時総会は五月二十三日(土)午後四時から「こまばエミナース」で開催します。総会の詳細については、同封別紙の「定時総会のご案内」を参照ください。当日ご出席いただけない場合は、委任状(返信用はがき)にご記名、ご捺印のうえご回答ください。会費は八千円。

第二部では元NHK会長で現在は大隈記念教育財団理事長などの要職にある海老沢勝二氏に「これからの日本」の演題で講演していただきます。



海老沢勝二氏略歴

昭和九年茨城県潮来市生れ。昭和三十二年早稲田大学政経学部政治学科卒業、同年NHKに放送記者として入局、政治家記者など報道部門で活躍。平成九年NHK会長に就任。



平成十四年ハイビジョンの普及など世界の放送事業の発展に貢献した功績で「国際エミナ賞」の経営者賞を受賞。横網審議委員会前委員長をはじめ、現在は大隈記念教育財団理事長、日本赤十字社常任理事、日本ゴルフツアー機構理事、読売新聞社調査研究本部顧問、杏林大学客員教授、茨城県人会連合会会長、潮来市名誉市民、中野稲門会会長他

また懇親会では一昨年の納涼祭で演奏した早稲田大学ユニークホルリンスジャズクラブの演奏も

早稲田キャンパスに新11号館が完成！ 母校の今 第14回



創立125周年記念事業の一つとして、06年3月に起工した商学学院・国際教養学院の新拠点「新11号館」が旧11号館・12号館跡地にこのほど完成、2月24日に竣工式が行われた。新11号館のコンセプトは、“歴史性と先進性が混在した新しい空間の造成”とされる。建物は地上14階、地下2階、延べ床面積が34,225.75㎡と最大。高さ68.5mは大隈記念タワーに次ぐ高さ。38年に商学部出身者の寄付により建設された旧11号館の歴史をつなぐため、新11号館の正面入り口は旧11号館の入り口を忠実に再現。また新11号館にはユニークな馬蹄形の教室も設けられ、大教室には床や椅子などに木材を多用、昔の教室を彷彿とさせる造りとなっている。さらに連続的な吹き抜け空間を設け、自然通風の促進と各種最新鋭のセンサーによる空調や照明の高度な制御を図るなど環境に配慮。また身障者対応トイレの設置やバリアフリー構造など、身障者にも優しい配慮がなされている。



新11号館を完成させて早稲田は今年もまた新学年を迎える。

(大内 秀行/記・写真)

OBバンド「ナイティウエス トジャズバンド」の楽しいデキシーランドジャズの演奏を予定しています。

会員増へ勧誘キャンペーン 新春懇親会で岩上会長表明

平成二十一年度の世田谷稲門会新春懇親会は一月三十一日(土)午後五時から「こまばエミナース」で百三十人の会員が出席して開催された。

第一部の講演会では野球解説者の広岡達朗氏が早大野球部やプロ野球現役時代の秘話や辛口批評を連発して会場を沸かせた。(講演内容は別項掲載)

第一部は麻生卓司幹事長の司会で進行。挨拶に立った岩上健一会長は「昨年は二つの部会が新設され、七つのプロック会とともに活動がさらに充実してきた。今年は四月から各プロック会の協力を得て世田谷区に一万人以上在住している校友の会員勧誘のキャンペーンを開始し、現在三五六人の会員数を五百人に増やしたい」と力強く抱負を語った。

続いて広岡氏が「私の野球人生」と題して約一時間講演。巨人軍の名遊撃手として活躍し、その後ヤクルトスワローズ、西武ライオンズの監督として日本一に導き、平成四年に野

球殿堂入りした経歴を織り交ぜながら「教育が人を育てる」と熱弁を振るった。会場壁面には写真部有志の傑作写真が展示され、講演会に花を添えた。

第二部の懇親会は島田實常任幹事が司会。鈴木宏治副会長の挨拶、市野瀬義明大田稲門会会長の来賓代表祝辞のあと、世田谷稲門会のロゴマークを制作した岩城好宏氏、旭日小授章を受賞した下條忠雄氏、新人会員三人がそれぞれ紹介され、守谷之男会員の乾杯の音頭で夕食会が始まった。プロック別の丸テーブルを囲んで和洋の料理と飲み物で賑やかに談笑した。

懇談が弾んだところでお楽しみの福引きに移った。総合進行役は柏良子副会長。今年の景品は早稲田グッズで出席者の約半数が当選、残りの出席者にも参加賞が出て、和気あいあいのうちに閉会の時間となった。最後は恒例の校歌斉唱で締めくくった。

広岡氏の講演要旨

昭和二十五年に早稲田に入学したが、当時の野球部は規律が厳しかった。一年生の時、試合の切符を配った女子学生に試合後声をかけられて写真撮り話をしたら、先輩に呼びつけられ、きつく叱られた。それも生半可ではなく、一時間半も正座させられて説教された。当時の野球部には先輩が後輩を指導、教育する伝統がきちんと守られていた。



今は全く変わった。一例を挙げると、頭髮の長さ。長髪でもいいが、肩に触れるほど長いのは見苦しいし、何より

野球選手としての清潔感がない。指導者が教えていないのだ。私は見かねてせめて襟足を揃えろと注意したのだが、日ごろ教育を受けていないせいから聞き入れてくれない。

プロ野球でも長髪をなびかせている選手がいるのはみっともない。誰も注意しないのだろう。巨人軍のラミレスはホームランを打つと変てこなパフォームンスをするが、私に言わせれば許されないことだ。指導者がプロ野球人としてあるべき姿を示さないのはなげかわしい。

巨人軍では一年目に三割を打って新人王になったが、入団した直後は打てずに苦しんだ。今と違ってコーチはいないし、誰も教えてくれなかった。早稲田のプライドで必死に練習した。当時の監督は慶応OBでスマートな水原さんだったが、そのあと昭和三十六年から監督になった川上さんとは初めから折り合いが悪く、後々まで不仲が続いた。

それが決定的になったのは、昭和三十九年の対国鉄戦のことだ。二対〇でリードされていた七回表、長嶋が三塁ランナーでバッターボックスに

私がいた時、長嶋が突然本塁に突入した。私は頭にきて三振しバットを放り投げてそのまま球場を去った。盗塁が監督のサインなら私を信用していないことになり、長嶋の単独スチールならそれを止めない監督・コーチのミスだ。

この事件が尾を引いて、その年のシーズンオフにトレードされることを知った私はオーナーの正力亭に手紙を出し「巨人の広岡で現役を終わりたいので、放出されるなら引退する」と直訴した。この手紙が球団のドン正力松太郎に渡り、この年は残留となったが、その二年後昭和四十一年に引退。十三年間の巨人軍生活だった。

翌年単身渡米し、メジャー各球団を見て回り、ピッチャーのローテーション方式やスッパの役割などを学んだ。この勝つための方程式が後に監督を務めたヤクルトの二十年ぶりの優勝に繋がっていく。私は二月九日で七十七歳になる。誰しも健康で長生きしたいものだが、そのためには食事に注意して血液を弱アルカリ性に保ち、日々「いからず・おそれず・かなしまず」に送ることだ。(文責・岩村明彦)

「ご近所の同窓の勧誘を —会員五〇〇名キャンペーン開始—

世田谷区内には早稲田大学OB・OGが一万千名在住しているが、現在の世田谷稲門会の会員数は三百六十名前後で高齢化も進み若干漸減傾向にある。そこでこの楽しい会を「ご近所の同窓にPRし勧誘する」キャンペーンをブロック会ごと開始することになった。

ご承知の通り当会では総会、世田谷稲門祭(納涼会)、新年会の全体行事のほか、七つの地域別のブロック会、十二の趣味の部会がそれぞれ活発に活動している。今後勧誘に必要な活動資料、回答はがき、入会申込書などを準備する。ぜひ皆様の協力をお願いします。各ブロックの勧誘委員は次の通り(敬称略・順不同)。

- 玉川会 代表浜田康夫(三四政経)、池田良夫(三六法)、谷田辺茂(四四商)、林馨(四五理工)
- キャロット会 代表富塚兆弥(四一政経)、守谷之男(二九理工)、西田達雄(三六理工)
- 千歳会 代表武藤哲(二八法)、矢尾板煥(二三七商)、鈴木宏治(二八商)
- けやき会 代表下谷内堯(三七政経)、武居達治(三九法)
- きぬた会 代表吉村豪介(三四教育)、高橋毅(三九商)、川村保夫(三四商)
- 西北会 代表松浦晋三郎(三八政経)、広田進(二六商)、高橋惇(二三商)
- さくら会 代表矢田廣(三四法)、岩城好宏(三四理工)、田中勝(三九法)、飯島勲(四〇政経)、佐々睦子(四三商)
- なお幹事会スタッフは岩上会長、柏副会長、寺島幹事、蒲原幹事、浜田幹事が担当する。

俳句入門講座開催のお知らせ

これから俳句を始めたい人、もう一度俳句の勉強をし直してみたい人のために、高橋悦男先生(早稲田大学名誉教授)による俳句の入門講座を無料で開催することになりました。会員及びご家族の参加を歓迎します。

日時：五月二〇日(水)午後一時半～四時半
場所：キャロットタワー四階ワークショップA室(三軒茶屋駅隣接)
参加連絡先：江原利次(電話FAXとも)
5760-7118
toshi@r01.iiscom.net
深沢六一 一六一四一三〇四

ヤング部会(仮称)が発足へ

現役でバリバリ働いている若手会員にとって、現在開催されている部会、ブロック会には日程の調整が難しかったり共通の話題が少ないため出席率が落ちたり退会される方もいる。そこで若手(五〇歳未満)の会員にも魅力的な会にするため、ブロック会を横断した新たなヤング部会(仮称)を発足させることになった。部会名、活動方針、担当役員などの詳細はこれから決めるが、興味のある方は積極的に参加してください。連絡先

島田 實幹事
3706-8928
shimada.minoru@ezweb.ne.jp
寺島 邦夫幹事
3413-5814
terasimakunio@yhb.ne.jp

部会だより

パソコン部会

部会の勉強会は毎月第2、第4火曜日の午後2時から始め、2時間ほど勉強して5時前には終わるようにしています。昨年末に3名ほどの会員が新たに入会し、毎回8名前後が集まってその時のテーマにそって自由闊達に楽しく勉強合っています。これまでいろいろなテーマについて勉強してきました。例えば自分史の作り方、エクセルによる住所録の作り方、ホームページビルダーの使い方等でした。今年に入ってもう一度基礎から勉強してみようと話がまとまり、Microsoft Word 2007、Excel 2007を使って基本的な文書や表、グラフの作り方やビジュアルな文書の作り方、写真やイラストの取り込み方、住所録とはがき印刷の仕方など、日常よく使うテーマを選んで勉強することになりました。参加者は初心者や経験者の技倆に応じて、それぞれ自己研鑽に励んでいます。

パソコンの技(わざ)は、自己流であったりまた便利な裏技があったりして各人各様ですが、この勉強を通じていろいろと体験してゆくことが出来ると思います。教室にはやや大きめのモニターがあって、それによって進めて行きますが、各自持参のノートパソコンで操作しながら体験してゆくようにしています。



ですからパソコンは初めての方、操作の仕方が良く分からない方、また操作を忘れてしまった方も遠慮なく質問され、体験して会得されると思います。こういう雰囲気がこのパソコン部会勉強会の特徴ではないかと思えます。これからも新しい会員が参加され、より一層楽しく勉強できることを希望しています。今後のテーマとしては、写真などのスライドショー、パワーポイントの使い方、ホームページの検索、メールの作成と発信の仕方など、パソコンをより楽しく有効に使う方法など参加会員の希望を入れて予定しています。(上田 忠雄/記)

芸術・芸能鑑賞部会

【世界の音楽・歌舞伎・文楽を楽しみ、いよいよ舞台公演を鑑賞】

昨年7月に発足した芸術芸能鑑賞部会は、日本の伝統文化・芸術・芸能や世界の芸術・音楽により親しみ、幅広く接する機会を作り、夫々の文化・芸術を楽しんでいます。これまでに岡村会員の「喜寿記念日に歌う、思い出の歌」をはじめ、矢田会員のお嬢さんの「矢田ちひろピアノリサイタル」、金会員のご主人・子息の「クラシック音楽」、花田会員の「シャンソン」など多数の会員参加が実現した。更に今年1月には尾上松緑さんの御協力で歌舞伎座さよなら公演「初春大歌舞伎」を15名で鑑賞し、2月には国立劇場で「文楽」を22名で鑑賞、その際に豊松清十郎さんの案内で国立劇場の楽屋見学も行った。3月には、「すがはらやすのり40周年リサイタル」（早大理工卒）、岡村喬生会員の「冬の旅」に多数の会員・家族・友人の鑑賞会参加を得た。

今後は5月9日に、初の舞台鑑賞を米倉涼子主演の松本清張原作の話題作「黒革の手帖」を予定、6月には「落語鑑賞会」も計画している。その後の予定では、歌舞伎鑑賞会と文楽鑑賞会をそれぞれ、あと1回計画し、音楽関係はそのつど案内したい。また下町の浅草に縁の深い演芸の鑑賞会を夏に開催を検討。更に鑑賞会主催の「音楽鑑賞会」や「芸能鑑賞会」も企画する予定です。皆さんの新規入会を歓迎します。現在部会員は30名です。

世話人：柏 良子 麻生卓司 鈴木宏治（記）
申し込み先：（鈴木）Tel/Fax 03-3307-2201



文楽鑑賞会で五世豊松清十郎さんを囲んで

釣 り

釣りを知らずに老いるなんて。老いてますます釣りにのめりこむ。

1月26日 新年会、魚や一丁銀座店に19名参加。釣り話題が盛り上がり、来期の釣り幹事も決まる。会長・柴田昇、副会長・国沢俊一、事務局・会計監査・寺島邦夫、沖釣り・国沢、中山大平、内水面川湖沼釣り・近堂和明、磯溪流釣り・柴田、会計・柴田。

1月10、24日 西伊豆ヤリイカ釣り西風強く出船せず。

2月7日 西伊豆魚磯丸ヒラメ釣り2名参加。ヒラメ、鯛1匹。

2月22日 ヤリイカ釣り間口港喜平治丸より出漁。4名参加。国沢氏8匹釣るも西風強く、11時早や上がり。船宿にて千円戻し、また土産にたくわんもらう。次回スルメイカ釣りを期待。

3月1日 溪流釣り解禁。柴田のみ。40匹の岩魚1匹。



3月8日 曇天アジ釣り、茅ヶ崎沖右工門丸より二の宮沖へ出漁。10名参加。40匹大型森、成田氏、30匹近く釣ったのはベテラン国沢、成田氏。中鯖入れ喰い。

3月15日朝 地蔵堂川柴田単独釣行。前日雨のため水量多く、魚の活性良好。45、44、43匹大岩魚各1匹。アマゴ32匹1匹の大漁であった。（写真）

【今後の予定】

4月29日、5月10日 鯛・アジ釣り、利一丸。

6月25日 茅ヶ崎沖キス釣り。

7月27日 洲の崎沖ムギイカ。

（柴田 昇／記）

カラオケ

カラオケ部会の新年会を今年は千歳船橋のカラオケスナック「マダム、チョウ」で開催しました。本部から土倉元会長、本部の川村部会担当幹事をゲストに総勢23名が出席、長老桜木氏の音頭で乾杯。美人ママの手作り料理に飲み放題で、どんどんボルテージが上がりました。その一部を紹介しますと、脇坂ご夫妻がご両人とも和服姿で歌われた「絆」は本当に微笑ましいばかりでした。またトラキチの川村氏の阪神タイガース「六甲降ろし」も飛び出し会を盛り上げました。

さて、カラオケ部会も8年目に入り、会員数は40名、年5回会合が開かれます。例会が年3回（主に三軒茶屋、カラオケボックスで5部屋借りる）、旅行が年1回（カラオケ、温泉、グルメ、観光などが楽しめます）。新年会は毎年1月中にスナックを貸し切りで行います。今回は5月31日～6月1日に熱海「ホテルニューアカオ」でカラオケ温泉観光旅行を行う予定にしています。歌うことによりストレスを発散し生活に潤いを与えてくれるカラオケ、当部会も会員募集中です。上手下手はぜんぜん関係ありません。奮ってご参加ください。

（清水 明雄／記）



囲碁将棋

第1回世田谷稲門会と杉並稲門会との親睦囲碁会開催

かねてから懸案であった杉並稲門会との親睦囲碁の親善試合を2月22日(日)、新宿の「囲碁サロン天元新宿」にて開催。対局開始：午後1時、参加人数：双方より11名ずつ合計22名。世田谷チームと杉並チームとの試合形式をとり、級位者から中段者及び高段者まで分けて各3局ずつ対局。結果世田谷チームが18勝15敗で快勝した。試合を終わって場所をかえて和やかな懇親会へ。双方の参加者ともども年配者が多い。酒が入るにつれ、舌も次第にまわり始め、打ち解け、和気藹々のうちに再開を約し親睦会は終わった。今回は世田谷チームが杉並チームの本拠に押しかけたが、2回目は杉並チームが世田谷チームに押しかけることになった。今後とも23区内のいろいろな稲門会同士の交流が活発になってくるものと思われる。

また3月8日(日)に湯河原の「杉の宿」で合宿及び梅見を行った。

(矢田 廣/記)

第4回「オール早稲田将棋祭」

3月7日(土)、新学生会館で行われました。教育学部2年の熊倉紫野女流一級の指導将棋もあることから24名のOBが参加して4回戦が行われました。現役学生も3名が世話役をしてくれました。世田谷稲門会から守屋寧夫、薄井好雄、高橋昌久氏と柴田の4名が参加。団体戦は守屋、薄井、柴田の3名で参加しました。3段から6段がAクラス、2段以下がBクラスの2クラスに分けての競技となりました。前・前々回のBクラス優勝者を出した世田谷は今年惨敗しました。Aクラス優勝は佐々木6段、Bクラス優勝は鶴田祐太郎でした。2枚落としてプロに2回勝っている柴田も今回は熊倉プロに完敗でした。世田谷稲門会は350名の会員が在籍しているのに、囲碁に比べて将棋愛好者が少ないのか、PRが行き届かないせいか、当祭への参加が少ないので、将棋界では高名な名人を何人も出している母校の将棋祭に是非参加してもらいたいと思っております。

(柴田 昇/記)



スポーツ観戦

大学ラグビー2年連続日本一 2008年度全国大学ラグビー選手権決勝は1月10日、国立競技場で行われ、早稲田は帝京大を20-10で破り優勝しました。2008年度の早大は大学公式戦(対抗戦)で帝京大と明大に敗れており、2敗後の大学選手権獲得は史上初めてのことでした。

早明戦観戦記 12月7日、国立競技場で早明戦が行われ、25名が観戦しましたが、22-24で9期ぶりに惜敗し、試合終了後は外苑前「ますだや」そば店での残念会を開きました。今シーズンの早大は帝京大に7-18で破れ、連勝が53で止まり、暗雲の終局が心配されたシーズンでした。我々早大ファンとしては対帝京戦、対慶大戦、対明大戦を観て何か近年にない精神的な油断が心配でした。これは正月の箱根駅伝でも感じたことでした。しかしラグビーは早明戦終了後、中竹監督の指導の下に選手の自覚、FWの奮起、BKのタックルなど短期間に努力が結実し、大学選手権では称賛できる優勝でした。各大学とも野球、ラグビー、サッカー、駅伝等あらゆるスポーツで過去に例を見ない強化策を講じており、早大の一層の強化と努力が望まれます。

(岸田 正和/記)



ゴルフ

初春とはいえ、ゴルファーにとってはこのところ天候不順のため心安らかではありませんが、桜の開花予想と共に沖縄では人気の女子プロトーナメントが先陣を切り開幕しました。男子ゴルフ界も17歳プロの石川遼選手がアメリカのマスタースへの初挑戦というすばらしい幕開けとなります。当ゴルフ部会も負けじと開幕第一戦を中津川CCにて行うため世話人一同着々と準備を進めています。また、今シーズンより青木誠司さん(45商)、河村卓郎さん(39文)を新世話人に迎え部会運営を更に充実したものにいたしたく、今シーズンを十分に楽しんでいただけるものと思っております。

本年度も4回にわたりコンペ開催を企画し、開催曜日の偏りや場所の選定に手を加え、より楽しく多くの方々が参加しやすいように段取りを行っておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。ゴルフは生涯スポーツとして楽しまれておりますので、入会ご希望の方は大歓迎です。入会は随時受け付けておりますので連絡をお待ちしております。

さて、本年のコンペ開催スケジュールは次の通り計画しておりますので、今から予定に組み入れていただくとお願いいたします。

第59回 6月3日(水) 都留CC

第60回 9月15日(火) ファイブハンドレッドC

(熊谷 慶紀/記)

食べ歩き

(1) 11月21日、第38回例会を開催。参加者33名。

今回は青山エリュシオンハウスで洗練された個性的なイタリアンと世界中から厳選された豊富なワインを堪能した。ギリシャ神話に由来する店名ELYSION（地上の楽園）にふさわしく周囲が総ガラス張りのゲストハウスレストランは明るい窓から太陽光が燦々と降り注ぎ、室内から窓外の洋風庭園を眺めながら歓談が弾んだ。荘司真恵さんの司会で進行。岸田、小山田両氏からこの会員制レストランの説明、大須賀肇代表世話人の挨拶・会務報告のあと栗山氏の乾杯の音頭で賑やかに宴が始まった。宴たけなわのころ出席者より活発な発言があり、会場は最高に盛り上がった。岸田氏の中締め挨拶で開きとなり、散会後は三々五々カナダ大使館内美術館見学や高橋是清記念公園の散策等を行った。



(2) 当部会内規第5項による有志の会「東京競馬観戦の会」

11月16日、参加者32名で開催。東京競馬場（府中）のフジビュースタンド貴賓室で昼食会を兼ねた競馬観戦会を行った。柏良子副会長の司会で進行。初参加7名の紹介の後、大須賀肇代表世話人の挨拶・乾杯発声で始まった。各自様々な話題の会話に夢中になり、情報交換を行い大いに盛り上がった。すべての競馬ファンの思いを込めたファンファーレが鳴り響くとスタンドを埋めた数万の観衆がどよめき熱気に満ちた雰囲気は拡散した。各自それぞれ馬券を求めながら豪華な貴賓室から競馬観戦を楽しんだ。周辺の木立はすっかり紅葉、黄葉に染まり、夜来の雨にしっとりとした色合いを複雑に織りなしていた。その秋深まる風景を眺めつつひとときの悦楽を味わい4時過ぎに散会した。



(大須賀 肇/記)

ウォーキング

現代人にとって最も大切な健康の基本は、とにかく歩く事から始まります。私達の部会は、それに楽しさと知的好奇心を加えたワクワクするようなコースを皆で選んで、毎月1回（5月と10月は2回）15～20人位で約5キロを3時間程度のんびりと歩いています。七福神めぐり、谷津干潟のバードウォッチング、お江戸日本橋や都内各地の名所旧跡巡り、足を伸ばしての戦艦三笠見学など歩く度に毎回新しい発見で気持ちも若返り、素晴らしい思い出となっています。今年も会員の皆さんが知恵を絞って選定した楽しいコースが次々と出来上がっているので以下に紹介します。

これを機会に、楽しいウォーキングにぜひ参加してみてください。参加を希望される人には、詳しい資料を差し上げます。

5月10日（日） 宿場町板橋を歩く、近藤勇墓所～平尾宿～加賀公園～東光寺～
観明寺～花の湯～本陣跡～文殊院～縁切り橋

5月19日（火） 江ノ電沿線散策、御霊神社～成就院～極楽寺～日蓮袈裟掛けの松～稲村ヶ崎～七里ヶ浜

6月14日（日） 狛江駅～岩戸川緑地公園～明静院～八幡神社～慶元寺～稲荷塚古境緑地～氷川神社～滝下橋緑道～喜多見駅

7月12日（日） 皇居東御苑を歩く、九段下駅～田安門～科学技術館～近代美術館～北詰橋門～皇居東御苑～大手門

連絡先：江原 利次 電話/FAX: 03-5760-7118

toshi@r01.itscom.net

(江原 利次/記)

ボウリング

毎月1回、世田谷オークラボウルにおいて原則として第3または第4日曜日に渋谷稲門会と合同で開催。午前11時から3ゲーム約1時間半、1レーン2~3名で隣レーンと交互に投球。好プレーに拍手、珍プレーにも声援を送りながら楽しいひと時を過ごしています。最近の実績は次の通りです。

12月21日(日)、参加者12名。160点：佐山順孝、127点：齊田祐二(得点120点以上)。佐山さんスピード、制球力とも素晴らしく、ほとんどミスのない投球で高得点！齊田さんも無理をしない堅実な投球で健闘。

1月25日(日)、参加者8名。145点：天野善弘、143点：峰本俊一、133点：佐山順孝。天野さん力強い投球でピンを飛ばし、峰本さんはスピードを抑えた頭脳的な投球で、佐山さんも相性の悪いレーンを克服して皆さん大健闘。

2月は後半の日曜日が団体貸切のため予約とれず、已む無く休会。オークラボウルは空調設備がよく、レーン数も30の広々とした快適な環境。ボールも軽重多数あり、靴も大小たくさん揃っていて、手ぶらでも気軽に参加、プレーできます。ボウリングは運動不足を解消しての健康増進には最適のスポーツ。ご参加をお待ちしております。(武藤 哲/記)

麻雀

① 12月20日(土)、冬には珍しく日差しの暖かな一日、師走の何かと忙しい時期にもかかわらず34名の善男善女が集まり越年資金の奪い合いというゼロサムゲームに没頭した。試合は最初から飛び出した河村暉子さんが最終回半チャン82点をライバル諸氏から強引にもぎ取り、2位以下に大差をつけ悼尾を飾った。優勝：河村暉子、準優勝：桃井清治、3位：能俊彦、4位：下谷内堯、5位：吉村善智、6位：田島功統。大会後、和風レストラン「花の舞」に移動して忘年会を開催した。会場には20名の男女エリートが集まり、試合を肴に四方山話に花が咲き閉店間際まで牛飲馬食し、来年の再会を誓い散会した。

② 平成21年1月18日(日)、太陽は微笑んでいるものの寒風の吹き荒ぶ日、コートの際を立てた自称プロ雀士32名が集まり、暖房の効いた雀荘でサブプライムローン問題や政局の混乱等を忘れ、暫しの間、勝負三昧に浸った。試合は毎回上位陣が目まぐるしく入れ替わる大混戦となったが、最終回半チャン63点を叩きだした池田氏が先行する強敵をごぼう抜きし、2度目の優勝を遂げた。

優勝：池田良夫、準優勝：小山康彦、3位：磯田稔、4位：吉村善智、5位：脇坂元彦、6位：武田一成

③ 2月14日(土)、梅の便り鶯の声が聞かれる小春日和の一日、30名の美男美女が集まり和気藹々に卓を囲んだ。試合は初回・2回戦に大量得点を稼いだ田島氏が追いすがる奥田、桃井両氏をタッチの差で逃げ切り初優勝を遂げた。

優勝：田島功統、準優勝：奥田隆、3位：桃井清治、4位：河村暉子、5位：武田一成、6位：河村卓郎

麻雀部会の例会も今年6月に100回記念大会を迎えるまでになりました。これもひとえに世田谷稲門会の役員並びに会員の皆様の暖かいご支援の賜と会員一同心から感謝しております。(下谷内 堯/記)

ブロック会だより

玉川

2月8日(日)に四季の旬菜料理で有名な二子玉川のレストラン『AEN GRANDE (アエン グランデ)』で平成21年新年会を開催しました。本部から岩上会長と麻生幹事長にもご出席頂き、会員23名と夫人9名を合わせて総勢34名というかつてない盛況となりました。12時に浜田代表世話人による挨拶で開会し、ゲストのお二人に挨拶を頂いた後、初めて女性(山本さん)による発声で乾杯し歓談に入りました。野菜中心の食材を用いた料理は大変に美味しく、繊細な味を堪能しました。会は井澤さんによるいつものながらのユーモアあふれる軽妙な司会により新入会員紹介、お店の由来についてのお話、二子玉川地区再開発の状況説明、玉川会行事の案内、会員によるスピーチ、同伴の奥様の紹介等盛り沢山の内容で、非常になごやかな雰囲気のうちに進められました。

各テーブルで話が盛り上がる中、デザートが出たところで席替えを行い、会員同士の親睦を図りました。自分の席から離れること、夫人同伴の人は同席しないこと等の工夫をし、これが功を奏したのか更に会話がはずみ最高の盛り上がりを見せました。楽しい時間が経過するのは早く、お店のご好意もあって予定時間を相当超過しましたが、小山田さんの閉めの挨拶で3時過ぎに閉会となりました。玉川会では今年度も7月の総会と2月の新年会を中心に春と秋開催のグルメ会・ゴルフ会・カラオケを楽しむ会、そして毎月開催の愛唱歌の会等活発な活動を予定しています。

(太田 隆/記)



き ぬ た

晴天の日は“花粉”が飛ぶし、曇れば寒いしと、鬱陶しい日々が続いていますが、会員の皆さま方におかれましてはお元気にお過ごしでしょうか。さて、「啓蟄」ではありませんが、当会も5月半ばを目途に新年度の活動をスタートする予定です。まだ詳細をお知らせすることが出来ませんが、何とか「会員諸兄姉」として面白いものになるよう「世話人・一同」で考えているところです。このような催しを年3～4回は行いたいものと願っています。

(吉村 豪介/記)

さ く ら

第17回さくら会は年2月15日(日)午前11時半から桜新町のイタリアンレストラン「ラ・ピアンタ」で開催、参加者24名。今回の出席者はかなり多く、女性の会員も4名出席され、賑やかで、和気藹々とした会合でした。

1. 『わが人生を語ろう』今までやってきたこと、今もやっていること、今後もやりたいこと。年配の方が多いため健康のこと。海外旅行、最近の世相、今年の景気、政治等。趣味でも過去の仕事でも第一の人生、第二の人生でも結構です。何かふつふつと燃える思いは誰でももっていると思います。前回までに中瀬正一氏、前原祖彦氏、関根昌一氏、上田忠雄氏、栗山佳三氏、若林昭男氏に語って頂きました。

今回は前原祖彦氏にご発言いただきました。要旨は次の通りです。政治面では過去の構造改革の矛盾、功罪について、辛口のご批判があり。昨今の日本企業の動きについては、特に日本の自動車業界は輸出の低迷もあり、各社とも生産在庫調整、赤字も続出しており、今後の動向が注目される。

2. 今回から、『時節経済寸評』と題し経済問題を取り上げることに致しました。これまで米国の資本主義は原則として市場経済に無介入だったが、自由市場、金融工学の過度の発展により、金融危機が拡大するに及んで、政府の介入を余儀なくさせられた。ウォール街(アメリカの金融街)で進展した金融工学は、ハーバードビジネススクール(HBS)卒業生を中心とした人達(アメリカエリートの出世コース)によって高度に発展を遂げた。自己資本の30倍ものレバレッジ(テコの原理 例えば\$100で買った株が\$110になれば利益は\$10、\$100の内\$90が借金だったら元手は2倍になる)に慣らされ、リスクに鈍感となった金融機関を含めて、サブプライムローンが焦げ付き、レバレッジが逆回転。100年に一度の恐慌の発端となった。金融資本主義の暴走である。HBSの卒業生にはブッシュ元大統領、オバマ大統領、ガイトナー財務長官(元連銀総裁)、サマーズ国家経済会議委員長(元HBSの学長)、ワゴナーGM会長等が名を連ねる。一説では金融工学の進展は悪くない。悪いのはそれを使う側の倫理の欠如だと言われている。資本主義の暴走にたいして政府が介入し、規制をおこなう修正資本主義は、国家の介入が過度になると保護主義となるおそれがある。例えば、ビッグ3への資本注入やバイアメリカンロー等これらは世界中に広がりEU各国、中国、ロシア等において、いろいろな形で保護主義らしきものに追従されている。

3. 本部依頼の世田谷稲門会入会勧誘委員は、さくら会からは次の5名に決まりました。
岩城好宏氏 田中勝氏、飯島勲氏、佐々睦子氏、矢田廣

4. 現在のさくら会直属の俳句の会について江原世話人より現状をふくめて詳細説明あり。

(矢田 廣/記)

千 歳

昨年11月29日(土)、見学会ならびに懇親会を開催

1. サントリー「武蔵野ビール工場」見学。14時45分京王線分倍河原駅に集合、参加者5名。送迎バスで10月1日リニューアルオープンした新工場に到着。若い女性案内人の誘導により原料素材選びから仕込み、発酵、貯酒、ろ過、そして缶容器に詰めるまでの過程を約40分間丁寧な説明を受けながら移動。終わって最後のお楽しみ、試飲コーナーで3年連続金賞受賞のザ・プレミアム モルツをご馳走になる。仕込みの様子を間近に見て体感できた満足感とほろ酔いのいい気分になって、急ぎ懇親会場に移動。

2. 懇親会。居酒屋「たつみ本店」(下高井戸)。17時半～20時、参加者11名。今回は月末のせい、所用と重なり欠席者が多くなりましたが、久しぶりの会合で先ずはお互いの健康を祝して乾杯。特別注文のシルバー向け料理に舌鼓をうち、お好みのアルコールで盃を交わしながらの楽しい談笑。各人の近況報告、趣味娯楽、健康、サブプライムローンと金融経済、政界談義など四方山話に花を咲かせてのあっという間の2時間。鈴木世話人より稲門祭に関する状況報告、芸術・芸能鑑賞部会の新設、新春懇親会の予定などの説明を受け、次回お花見時の元気な再会を約して散会、帰路につきました。

(武藤 哲/記)

キャロット

昨年11月29日(土)三軒茶屋の割烹「富士」の2階大広間で忘年会を開催しました。当日はキャロット関係者23名、他のブロック会の方17名、計40名が出席されました。最初に早大法学部出身の柳家甚語楼師匠に一席落語を演じて頂きました。当初まくらでは「小言幸兵衛」を話し始めましたが、噺の途中でメクリを替えたため、演目を急遽「試し酒」に変更するハプニングがありました。落語を座敷で初めて聴く方もおられ、楽しまれたようです。落語終了後記念撮影を行い、宴会に入りました。当会会員の区会議員下山義男さん、風間穰さんのスピーチ、萩原健さんの世界の言語の挨拶言葉の披露等があり、楽しく3時間を過ごしました。最後は柳家甚語楼師匠の三本締めでお開きとなりました。

今年は6月にカントリーウエスタンの会を三軒茶屋「Stage pf」で開催の予定です。また11月末の忘年会には若手落語家(出来れば女性)を招く計画です。世田谷稲門会の皆さんの参加をお待ちします。

(富塚 兆弥/記)



西 北

初詣 1月8日(木)恒例の初詣を矢島嗣久氏(28法)が宮司を務められている代沢の「北澤八幡神社」に有志12名でお参りし、西北会の繁栄と会員の皆様のご健勝を祈願しました。矢島宮司より今年の干支は己丑で大地に足をしっかりつけ着実に前進する、但し大きな落とし穴があるので注意が必要とのお話を頂きました。今年一年が健康できっと良い年になるという希望を胸に、お参り後、近くの「串鉄」にて懇親会を催し散会しました。この初詣は毎年おこなっておりますので、ご希望の方は世話人までお申し出下さい。

例会 第16回目はいつもの参宮橋の新日鉄代々木倶楽部で開催しました。今回は松浦晋三郎(38政経)が生命保険会社、確認(調査)会社の経験を踏まえ「保険の基礎知識を中心として」と題して話をしました。あまり知られていない保険の基礎的な問題として保険料・契約の選択・保険の種類・会社形等の解説、更には保険会社の破綻の経緯、金融ビッグバン等裏話を交え分かりやすく説明。確認会社での経験から、生損保の不払い、加入者側のモラルの問題等々事例を挙げての話が興味を引いたようです。特に事故(病气、手術)の際の請求漏れの無いように、自分で「支払われないのでは」と判断しないで保険会社に必ず確認するように注意を喚起しました。その後倶楽部の美味しい料理とお酒で賑やかな懇親会を催しました。今回の参加者は季節の変わり目のせいか体調を崩された方が多く17名でした。次回は6月に開催予定です。

(松浦 晋三郎/記)

け や き

春の日差しを浴びてお雛様の顔もほころぶ3月7日(土)17時15分から経堂の和風レストラン「かごの屋」2階で、講師に母校野球部唯一人の先輩理事である鈴木勝夫氏をお招きし、本年度2回目の懇親会を開催した。当日は本部から岩上会長、柏副会長が列席し、けやき会会員と併せて計24名が集まる賑やかな会となった。鈴木氏は甲子園、母校野球部、東芝で活躍され、また社会人としては東芝本社の半導体営業部長、北関東支店長を歴任された。アマチュア(高校野球連盟)とプロ(セ・パ両リーグ)の交差点に位置し、アマ・プロ・ノンプロを含む全ての野球界の裏話を熟知され、広岡達朗氏に最も信頼されている同氏の控えめながら蘊蓄に富む話を出席者一同、目から鱗の思いで聞き入った。



母校野球部108年にわたる歴史、プロ野球も取得していない天皇杯を六大学野球連盟が有していること、野球部の精神である「安部6訓」、「早慶6連戦」で5試合に完投して母校を優勝に導いた神宮の英雄・安藤元博投手と共に戦った神宮の思い出(ちなみに同氏は安藤投手と終生無二の親友であった)、高校球児及び大学選手の進路決定に際しての表に出せない話などで、講演時間は予定をはるかにオーバーする盛り上がりであった。講演後も鈴木氏は最後まで出席者と飲食懇談し、質問にも応じるなど好感を呼んだ。懇親会は予定を1時間以上オーバーし、岩上会長のリードによる校歌斉唱と柏副会長の一本締めで次回での再会を約し、名残り惜しげに散会した。

(下谷内 堯/記)

会員の広場

わが闘病記

名医の執刀で命拾い

寺澤 隆夫(昭二九商)



私は五〇年前に盲腸で入院したことがある位で、その

後は元氣そのものだったが、二年前内臓を摘出する大手術を受け命拾いした。以下その体験を記して皆さんのご参考に供したい。

異変が見つかったのは一昨年初め世田谷区の健康診断で、GTPの数値が異常に高く出たことだった(正常値〇〇七〇に対し二〇〇)。早速ホームドクターが関東中央病院で精密検査をするよう紹介状を書いて下さった。自覚症状らしきものは無く、あえて言えば何となく疲れやすい感じと、尿が運動をした後のようなやや濃い色をしていた位であった。関東中央病院で血液検査したところ一二〇〇という数値に跳ね上がったっており、深刻な状

態といわれた。

医師の判断としては胆石又は胆管内に腫瘍が出来ているかの二点であろうとのこと。

その後、CT検査やMRI等の精密検査をした結果、やはり腫瘍に基づくものであるという結論に至った。膵臓は胃の裏側にあるため発見が難しく、「物言わぬ臓器」と言われるほど症状が表面化しないため、手後れになることが多いようだ。二月に入り東大病院へ転院、約一カ月間精密検査をして三月上旬に手術することになった。

手術に備えての各種の検査や準備そして説明を受け、手術の日を待っていたが、その間は決して気持ちの良いものではなかった。検査・治療、それに関しての処置一つひとつに対して家族ともども説明を受けサインしなければならぬ。現代医療においては何かがあると問題になるため「説明した」「聞いてない」ということの無いようにサインをするのだろう。

手術当日は「俎板の上の鯉」的心境でドクターそしてスタッフを信頼して手術室に向か

った。幸いなことに執刀してくださった先生は世界的に名の知れたドクターM教授で、手術は朝八時から夜二四時まで一五時間かけて行われた。

傷跡は縦三〇センチ横二五センチと大きく、特に縦に開腹したため、それまで気がつかなかったが、歩くこと、座ること、ベッドから立ち上がること等全て腹筋を使っている、人間にとり腹筋が如何に大切なものか思い知らされた。

更に幸いだったのは、この先生は三月末に東大を定年で退官(日赤院長になられた)されたので、多分私が同病院における最後の患者だったのではないかと思われる。

術後一週間位は管やパイプをぶら下げて点滴の棒を押しながらの生活であった。しかしあれだけの大手術にもかかわらず手術の翌日からトイレも食事も歩いていくように言われたのにはいささかびっくりした。こわごわと歩く練習から始めたのを思い出す。

そして見舞い客の多い人ほど回復が早いとも言われたので友人等が何人も来てくれた。今までの常識だと手術の後の見舞いは気を遣うので行くも

のではないと思っていたが、外科だったからか。確かに昼間見舞い客がいないと直ぐ眠ってしまい、昼・夜が逆転してしまいが、客があるとある程度緊張して対応するのがかえって良いのかも知れない。

手術後約二週間で退院したが、暫くは駅まで五〇〇メートルの距離を途中で一〜二回休まないと歩けなかったし、ステッキを必要とした。しかし五カ月後にはゴルフに行くほどに快復した(ただしスコアーはドライバーの飛距離が落ちてハイフ六〇を切れないのはショックであったが、プレーが出来るようになっただけで満足すべきと自分で慰めている)。

体重は手術前が六〇キログラム、術後は五〇キログラム。そして一年後は五八キログラムと医師も驚かれる程に順調に快復した。今回の入院・手術を通じての教訓は、

- ① 区の健康診断は決して疎かにしてはならない。
- ② 良いホームドクターを持つこと、併せてその先生から総合病院を紹介して頂けるといふ心強さ。
- ③ 家族、兄弟そして友人達の存在の有り難さを再確認できたこと。

自分の体験を振り返ると全てラッキーが重なったということに尽きる。病気が発見されるまで日ごろ健康に過ごせていたこと、定期健診が年の初めであったこと、良いホームドクターに恵まれていたこと、そして紹介された病院が良い病院であったこと、執刀して下さったドクターが名医だったこと、周りの方々の心遣い、応援の大きかったこと等々数えればきりが無いほど幸運に恵まれた。

現在は定期検診を受けつつ早や二年を経過し、何事も無く感慨新たに毎日を過ごしている。折角拾った命、節制をしながら残りの寿命を日々愉しんでいこうと思う。

早稲田で中国拳法に執中 足つばマッサージも実践

山口 範明(平成四年法)

小生、昭和六十一年に法学部に入学し、二年間早稲田の財政に貢献し(つまり留年し)、平成四年に卒業した四一歳の若輩者です。この度、世田谷稲門会に入会し、早速部会などに楽しく参加しています。ついては自己紹介を兼ねて、



我が青春の
早稲田を披
露させてい
ただきます。

正直、学生時代授業に出席したことはほとんどありません。語学などは四年生に至るまで一年生達と机を並べていたほどです。語学の教授からは「山口さん、とにかく授業に出てください。出てくれれば単位は必ず上げますから」などと言われる始末。

じゃあ、何をしていたのかという点と表題にあるように中国拳法の練習に熱をいれていました。昼頃大学に行き、それから夜の七時、八時まで練習をする、そんな生活を送っていた次第です。本当は空手を習いたかったのですが、変な先輩につかまってしまい中国武術研究会という団体に所属する破目に。

武術をやる人間は大抵他流派への対抗意識が強く、小生も「負けてなるものか」と必死で練習し、また格闘技関係の雑誌も読み漁りました。その頃「月刊空手道」という雑誌で「足つぼマッサージ」の連載が始まったのです。今でこそ足つぼマッサージは世間

で認知されていますが、二十年前はほとんど知られてなかったのではないのでしょうか。小生は酒をかなり嗜むこともあり、自己のメンテナンスのためにも熱心に読み研究しました。足つぼマッサージの良いところは何と云っても自分で揉めることです。痛いのが難ですが、痛いくらいに揉まない効果が無いのです。そして痛みが無くなるようになると治療効果が出てきます。足つぼマッサージは二つの理論から構成されています。

一つは体中のつぼ（反射区等）と人によつて表現が異なる）が足に集中しているため、そこを揉むことにより患部に直接治療効果を生じさせる点。これが足つぼマッサージの根幹をなすものです。

また、もう一つは足を揉むことにより、足に溜まった老廃物を体外に排出させる点です。案外、後者については知られていないように感じます。心臓が血液を体全体に送り込み、各細胞はそこから栄養を摂取します。すると当然栄養分のカス、いわゆる老廃物を生じます。この老廃物をろ過する役目を担っているのが腎臓で、

一日に約一八〇リットルの血液をろ過しているといわれています。しかし、ろ過しきれなかった老廃物は地球の重力により、下方すなわち足に集まっています。そのため、年を重ねていくと足首が太くなったり、魚の目ができやすくなったりします。

ですから、それらの老廃物を体外に排出させることも足つぼマッサージの重要な目的で、腎臓、輸尿管、膀胱の反射区をマッサージを基本としています。つまり老廃物を尿と一緒に排出させようとしているのです。また、お酒を嗜まれる方は肝臓の反射区もしっかり揉みたいところです。まさに「肝腎かなめ」ですね。

末筆ながらこの拙文が校友の皆様方の健康管理に少しでもお役にたてれば幸いに思います。

水原監督の「夢のオールジャパン」

岸田 正和（昭和三四四年商）



新年会で
の広岡達朗
氏の講演に

触発されて元読売巨人軍監督の水原茂氏のことを思い出しました。もう三〇年以上前のことですが、経済団体の主催する洋上研修に参加した際、特別講師として水原氏が講演した話が印象に残っています。広岡氏の講演内容と共通するところもあるので、紹介してみたい。

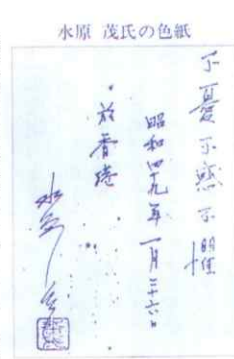
広岡氏は講演で、選手の育成には本人の意識と意欲を尊重し、一にも二にも猛練習につきると主張し、三度の日本一を達成した監督として頭脳、技術、力を強調し、意識革命を進めたと話しました。また水原監督は勝負への強い執着心と信念を持ち、「頭脳」、「力」、「機動力」のあるチームづくりを目指していたとのことでした。

更に水原監督は機能的役割分担を貫くためコーチ陣に「千葉、川上、中尾の各氏」を用いて実績をあげ、近代野球の布石を敷いたと言えます。

その当時、水原監督が選出した時代を超越した夢のプロ野球全日本メンバーは次の通りでした。

- 投手 沢村・捕手 吉原
- 一塁手 王・二塁手 荻田

- 三塁手 長嶋・遊撃手 広岡
- 左翼手 高田・中堅手 柴田
- 右翼手 景浦



歴代の名選手の中から「投手走」に打力を備えた総合力のある編成とのことで興味のある顔ぶれです。現在活躍しているイチロー、松井、かつての古田等、その後何人入れ替えるかは故人に聞かないと分かりませんが、あなたの選ぶ全日本ベストメンバーは如何ですか。

ところで現在の団体スポーツ、サッカー、野球、ラグビー、駅伝などを見て共通して言えることは、高校時代に全国レベルで活躍し、体力、素質、根性を持ち合わせた選手を如何に獲得し育成するかが大きなポイントになります。特に大学スポーツでは有力選手を毎年継続して獲得できるかどうかは戦績に直結するだけに、新しい視野に立った有能選手の発掘と育成が重要と思われれます。

新入会・退会・住居変更のお知らせ

「名簿〔平成18年4月発行〕と会報35・36・37・38・39号記載分」以降〔敬称略〕

〔新入会員〕

氏名	卒年・学部	郵便番号	住所	電話	FAX
山口 範明	平04 法	個人情報につき不掲載			
高橋 昌久	昭45 理工				
松野 文彦	昭35 政経				
内田 孝	昭36 商				
宮原弥太郎	昭34 理工				
茂木 浜二	昭42 政経				
小河原 泰	昭41 商				

〔退会会員〕

氏名	卒年・学部	理由	氏名	卒年・学部	理由
大石 邦雄	昭17 政経		新井 武	昭33 商	
吹田 靖治	昭37 文		小川 正徳	昭41 教育	
宮坂 雅夫	昭48 文		中島 康	昭38 理工	
西浦 良一	昭47 教育		三上 京子	昭48 文	
佐藤 純三	昭33 理工		渡辺 宏	昭22 政経	
佐々木清広	昭30 商		荒井 清	昭40 政経	
古谷 哲雄	昭29 政経				

会員便り

中国旅行のお誘い

水島 豊 (昭和四〇政経)

小生が会員のNPO法人東京都日中友好協会では、今年度の訪中事業として、昨年諸般の事情によりやむをえず延期した「天空のチベットと青蔵鉄道体験の旅」を八月一日(日)より二三日(日)までの日程で再度計画いたしました。

北京・西寧・ラサ・成都のコースで実施いたしますが、青蔵鉄道の区間は、青海省の西寧からチベット自治区のラサまでの一、九五六kmです。世界で最も海拔の高いところに敷設される鉄道として二〇〇六年七月に開通して以来、国内外観光客の高い人気を誇っております。

チベット自治区のラサには三泊し、チベットのシンボルになっているダライラマの宮殿「ポタラ宮」、チベット仏教の総本山の大昭寺や巡礼者で賑わう八角街等をゆっくり見学します。

今回も北京市人民対外友好協会の招請になりますが、現

地からも大歓迎する旨連絡が入っていますので、ご希望の方は早めに左記に予約をお申し込みいただければ幸いです。定員になり次第、先着順で締め切らせていただきます。なお青蔵鉄道は一等の座席数が少ないため、二等になることもございますので、予めご承知おき下さい。

予約申込み先

TEL

〇三―三三〇二―七二七五

FAX

〇三―三三〇二―七二七九

ロカエンウエキ

蘆花園植木(株) 水島 豊

事務局だより

(第三回)

新事務局スタッフがスタートして一〇カ月余、まだよちよち歩きながら会員の皆さまのご支援・ご協力のお陰でなんとか目の前の役割をその都度こなしてきました。ご満足いただけたかと心配しております。

世田谷稲門会活動の基盤となる会費は納入率が九五%以上と高率で、事務局一同皆さまのご協力で感謝いたしております。来年度もぜひよろし

くお願い申し上げます。一月の新春懇親会も一二〇名以上の皆さまのご参加で大盛況でした。いかがでしたでしょうか。皆さまからご意見頂けましたら、次回以降の参考にさせていただきます。たいと思っております。

目下、会員名簿の改訂作業を行っています。五月の総会のご案内と一緒に届けたいです。会の活動や会員同士の交流にお役に立てれば幸いです。これからも事務局一同、会の活動の下支えの役割を十分果たすべく努力するつもりです。一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

(事務局スタッフ 横田/記、島田・浜田・加藤)

訃報



故荒井清氏

前幹事として会のホームページを担当され、またパソコン部会を立ち上げその世話人をされていきました荒井清氏(昭和四〇年政経)が三月二十五日に逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。